

神奈川県立白山高等学校 学校運営協議会 開催結果

会議名称	令和7年度 白山高等学校 第3回 学校運営協議会
開催日時	令和8年3月16日(月) 15時50分~16時50分
開催場所	白山高等学校 会議室
出席者	長島 和広、寺澤 みゆき、相原 陽子、久保田 賢司、佐藤 元信、鍛代 千鶴
会議資料	学校運営協議会委員名簿、R7学校評価報告書(実施結果)、R7度不祥事ゼロプログラム(検証結果)
議事録	<p>○令和7年度の取組結果について 各グループから取組を説明し、質疑応答をした。 各委員からご意見をいただいた(主な意見を記載)。</p> <p>【教育課程・学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末、電子黒板を有効活用している。引き続き視覚に訴えた効果的な指導を継続してもらいたい。 ・探究的な学びのテーマを「よりよく生きる」と設定したことはよい。 ・卒業式に感動した。各種パンフレットも生徒の笑顔が多く学校生活を楽しんでいてとてもよい。 <p>【生徒指導・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車のルールが変わるので、マナーキャンペーン等学校からも生徒に発信してもらいたい。 ・生活指導において小学校では「いじめ」が1番の問題であり、トラブルのレベルもいじめの件数にカウントしている。 ・他人との関わり方が分からない子供たちが増えている。 ・自己肯定感が低くなってきていると感じているが、自分にとって「よりよく生きる」ことが大事であり、小中も頑張るので高校も頑張ってもらいたい。 <p>【進路指導・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年でテーマを持った探究活動を充実させることができた。 ・地域の保育園や小学校、老人ホーム等で、生徒のインターンシップやボランティア活動を実施した。 <p>【地域等との協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動は地域とのつながりとして有効である。活動の計画・経過・成果を地域に発信してもらいたい。 <p>【学校管理・学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外在校時間が減っているのはすごいことである。業務を「やめていく」ことも必要である。 ・ICT化により逆に業務が増えているところもあると思われるので業務を精選する必要がある。 ・教員も「よりよく生きる」こと、ワークライフバランスが大事で「働かない改革」ではない。 ・「働けない」ライフステージもあるので、それを含めて「働き方改革」である。 ・コンプライアンスは年々変化しているので、不祥事ゼロプログラムでは、どこが法律に引っかかるところなのかを見直すとよい。